

通所リハ 健康の家



私たち健康の家の職員は
『リハビリテーション＝社会復帰』の専門家として、
利用者様、ご家族様の「したい、なりたい」を
徹底的に支援します

営業時間／8:30～17:30

営業日／月～土曜日,祝日(1月1日から1月2日のみ営業なし)

〒910-0855

福井県福井市西方1丁目2-11 いちご在宅支援センター1階・2階

TEL.0776-30-0162

FAX.0776-30-0163

介護事業所No／1810119840

体験・見学随時対応して
おります！
お気軽にお問合せ下さい！



サービスの特色

結果の出るリハビリの仕組み(リハビリテーションマネジメント)

利用者一人一人に専門職の担当者がつき、利用者様の調査・計画・実行・確認・改善を繰り返す中で利用者様、ご家族様の「したい・なりたい」を徹底的に支援いたします。



調査

実際の生活環境を専門職が直接評価します。本人の能力、家人の能力、家屋環境を確認することで、リハビリの計画として今後何をやる必要があるのかが、具体的にになります。



計画

多様な職種が問題解決に向けて計画を作ります。調査を基に、通所リハビリとして、何をやっていくかを話し合い、計画書を作成します。いつ、どこで、なんのために、何をするか。具体的にプランを作成します。



実行

調査と計画を基に、目的に向かった支援を実行します。実行には多彩な職種が関わります。実行した結果は客観的に記録を行い、評価に繋げていきます。



評価

目標に対してのプランを実行して、効果が出たのか、出ていないのか。具体的な数値やチームの話を基に検討を行います。



改善

評価での検討を基に計画の見直しを行い、計画を改善していきます。能力の変動に応じて、再度調査や計画を行います。



職種・資格

職種：管理者、リハビリ職員、介護職員、看護職員、歯科衛生士、管理栄養士

資格：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、介護福祉士、初任者研修修了者、ホームヘルパー2級、健康運動実践者、健康運動指導士、看護師、准看護師、歯科衛生士、管理栄養士、認知症キャラバンメイト 福祉住環境コーディネーター、

個人シート

利用者様が通所に来所されてから、いつ、どこで、何のために、どのように、何をするのか、情報が具体的にひとつのファイルにまとまっています。ご自身で記入することで意欲的にリハビリに取り組むことができます。

名前	個別活動 実施日時	日時	場所	内容	実施状況	実施回数
スウェーデン体操	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら体操	実施	1回
ストレッチ	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながらストレッチ	実施	1回
音楽鑑賞	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら鑑賞	実施	1回
読書	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら読書	実施	1回
散歩	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら散歩	実施	1回
お茶会	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながらお茶会	実施	1回
ゲーム	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながらゲーム	実施	1回
絵画	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら絵画	実施	1回
手芸	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながら手芸	実施	1回
その他	10月10日	10:00	1F	音楽を聴きながらその他	実施	1回

個別の目標

何時に何をやる

共有内容

個別の活動
プランと

栄養マネジメント

毎月の体重測定結果から、体重減少が著しい方を対象に、月1回、栄養士とカンファレンスを実施しています。食事をしっかり食べているつもりでも、実は内容に偏りがあったり、量が不十分な事で、低栄養状態を引き起こしている事があります。対象の方には、必要に応じて栄養評価の実施、栄養士からの助言を行っています。また、著しい体重の増減は病気の症状の一つでもあるので、異常の早期発見にも繋がっています。

居宅訪問

リハビリ職員が直接自宅を伺い、生活を送るうえで課題となっている動作を、実際の環境で評価し、アドバイスをを行います。



手すりの設置や安全な昇降方法のアドバイスをを行います。

もともと趣味で行っていた畑。障害があっても、環境や方法を工夫することで、作業が再度行えるように支援していきます。



車椅子への乗り移りの介助が大変な方に、ご自宅のベッド環境で直接ご家族へ方法の指導を行ったり、道具の提案をさせていただきます。



ご自宅での動作獲得に向け、実際にご自宅に伺い、動作や介助方法の指導、手すりなど福祉用具のご提案をさせていただきます。

イベントリハビリ

「カラオケ大会」「買い物」「おもてなし」などイベントを企画し、イベントに向けて目標を立てリハビリしていただきます。

利用目的に合わせた内容をお持ちの利用者様の参加はもちろん、目標が持ちにくい方などにも参加していただき、意欲的に取り組んでいただけるような企画を日々検討しています。



生活支援コース ～いつまでも自宅で自分らしく～

サービスの特徴

①昼食・入浴サービス付きの1日型通所リハビリです。

②生活動作を通してリハビリが行えます。

食事・トイレ・移動(車椅子駆動や歩行)・入浴・起き上がりなど
実際の動作を行いながら、専門的なリハビリが行えます。



こんな方が利用されています・対象者

●病院を退院して直後の方

(例:ご家族が初めての介護で不安がある方。)

●在宅での生活にて状態が悪化した方、介護保険の更新にて要支援から要介護になった方

(例:ベッドから立てなくなってきた。食事やトイレが一人できなくなってきた。物忘れが増えた。)

●気管切開、経管栄養、膀胱留置カテーテル等を使用しており、医療的な管理が必要な方

サービスご利用当日の流れ

※空き時間には個人で組まれたリハビリメニューを行って頂きます。

※退院直後の方を中心に、リハビリスタッフとの個別訓練があります。

6～7時間(9:40～15:50)

08:00～ 送迎(センターの車でお迎えに伺います)

センター到着、うがい・手洗い・健康チェック(血圧・体温等)、プリント活動

10:00～ あいさつ・ラジオ体操、

11:00～ 【集団】怪我防止のストレッチ

11:45～ 【集団】食事前の口のリハビリ

12:00～ 昼食、片づけ、口腔ケア、休憩

14:00～ 【集団】認知症予防リハビリ

15:00～ おやつ、帰宅準備

15:50～ 送迎(センターの車でお送りします)

* 入浴: 寝台浴の方は午前中, 訓練浴、座位浴の方は午後に順番に入ります

4～5時間(10:40～14:50)

09:30～ 送迎(センターの車でお迎えに伺います)

センター到着、うがい・手洗い・健康チェック(血圧・体温等)

11:00～ 【集団】怪我防止のストレッチ

11:45～ 【集団】食事前の口のリハビリ

12:00～ 昼食、片づけ、口腔ケア、休憩

14:00～ 【集団】認知症予防リハビリ、トイレ 帰宅準備

14:50～ 送迎(センターの車でお送りします)

* 入浴サービスはございません

<活動>



トイレ

車椅子で対応できる広さ、能力に応じて右手すり、左手すりのトイレがあります。
立ち上がりが難しい方でもトイレの練習ができるよう、補高便座の用意もございます。

食事

状態に合わせて食事の練習が行えるように、食器や箸など自助具の種類も充実しています。全席で昇降式のテーブルを使用し、お身体に合わせて高さが変更できます。



入浴(寝台浴)

座る事が難しい方や、気管切開をされている方、体力がない方でも安全に入浴することができます。

入浴(訓練浴)

自宅やデイサービスでの入浴を目指し、またぎの練習等、状態に合わせた入浴練習を行うことができます。



静養室

ベッドは8台、除圧マット対応1台、疲れやすい方の休息、重度の方のポジショニング、ベッド上での運動と幅広くご利用いただけます。気管切開や胃瘻のある方、吸痰が必要な方でも安心してご利用いただけます。
リラクゼーション器具も揃えています。また移乗用のシート・ボード・圧抜き用のグローブなどを取り揃えており、介護する側・される側双方に優しい介助を行っています。



活動器具

持久力運動や関節運動・手指の運動などに必要な器具が揃い、必要に応じて運動を行うことができます。

集団リハビリ

怪我予防のための頭のリハビリ、認知機能低下予防のための頭のリハビリ、誤嚥予防の口のリハビリを集団で楽しみながら行えます。

自立支援コース



<サービスの特徴>

①コースを選ぶことができます。

- ・リハビリ特化コース
- ・期間限定目標達成コース

②自分で問題解決が行える様、リハビリの指導に重点をおいています

受け身のリハビリではなく、自分でリハビリをして自己管理(生活・運動)が行える様に自律支援を行います。生活が安定し出来ることを増えるように、また活動範囲が広がる様に支援して参ります。

③具体的な目標達成に向けた支援を行います

曖昧な目標では漫然としたリハビリが続くだけになってしまいます。

具体的な目標を共有し、目標達成に向けて本人様を取り巻くご家族様、多職種と一緒に支援します。

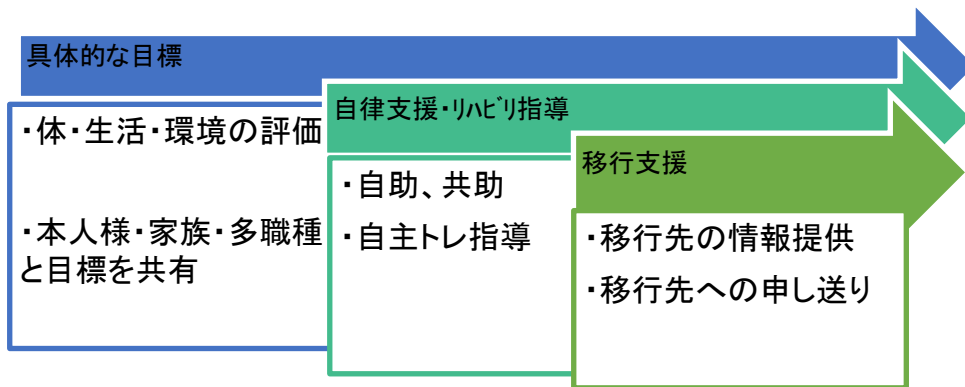
④キレイな雰囲気、活動的な雰囲気

病院リハ室の様な雰囲気ではリハビリに取り組みます。レクリエーションや外出はありません。

⑤ステップupを目指して、移行支援を行います

住み慣れた地域で自分らしく生きる為の支援の一環として

目標達成の振り返りを行い、活動や参加が盛んなデイサービスや地域サービスへの移行を提案します。



<こんな方が利用されています・対象者>

●生活が不安定な方、病院退院後が不安な方

病院を退院直後の方 (例:退院後新しい環境で生活していけるか不安。)

在宅での生活にて不安を感じている方 (例:自宅で転倒している。生活の範囲が狭まっている。)

●生活は安定しているが、もっとできることを増やしたい方

(例:自宅まわりを散歩してみたい。畑に行きたい。老人会にまた行けるようになりたい)

<コース・時間・曜日・定員>

コース	サービス提供時間	月	火	水	木	金	土
リハ特化 午前	(9:40~11:50)	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支
リハ特化 午後	(13:40~15:50)	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支
期間限定	(10:40~14:50)	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支	介/支

<活動>



ホットパック、メドマー

こわばった筋肉を温めたり、血流を良くすることで痛みの軽減を図ります。



筋トレマシン

マシントレーニングを通して、必要な筋力の維持向上を図ります。(身体に障害がある方でも、安全に使用できるよう、職員が付き添います。)



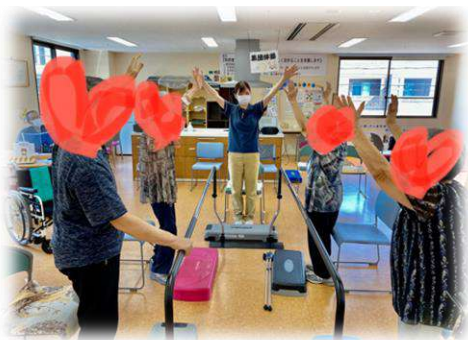
個別に応じたメニュー

体の症状に応じた自主トレメニューを用意しています。自立して運動の機会を増やせるように職員がサポートします。



生活動作練習

歩行・トイレ・入浴・着替え・階段昇降等、生活の中で困っている動作はありませんか？自立して行える方法を一緒に考えていきましょう！！



集団体操

持久力やバランス向上を目的とした集団体操があります。(選択制)
他利用者様と楽しく、競いあいながら運動に取り組むことができます。



発声体操

加齢とともに飲み込みの力が落ちてくると、好きだった食べ物が食べられなく可能性もあります。発声練習を行い、飲み込みの力・発声の力を維持していきます。

利用の流れ (リハビリ特化コース)

リハビリ特化コース

- 滞在2時間
- 食事なし、風呂なし
- 目標達成にむけたリハビリのみ
- 移動・排泄自立レベルの方

<サービスご利用当日の流れ> ※時間は一例

午前の部

- 08:30～ ご自宅へお迎え(センターの車でお迎えに伺います)
センター到着、うがい・手洗い・健康チェック(血圧・体温等)
- 09:40～ あいさつ、ラジオ体操
- 09:50～ **リハビリ**: 自身のプログラムシートをみながら活動、マシントレーニング、バイクマシン、自主トレーニング
- 11:30～ 発声体操、帰宅準備
- 11:50～ 送迎(センターの車でお送りします)

午後の部

- 13:00～ 送迎(センターの車でお迎えに伺います)
センター到着、うがい・手洗い・健康チェック(血圧・体温等)
- 13:40～ あいさつ、ラジオ体操
- 14:50～ **リハビリ**: 自身のプログラムシートをみながら活動、マシントレーニング、バイクマシン、自主トレーニング
- 15:30～ 発声体操、帰宅準備
- 15:50～ 送迎(センターの車でお送りします)

<よくあるQ&A>

Q: 支援と介護の違いは？

A: お体の状態が似た方同士でのピアカウンセリングを狙って曜日を分けています。またグループでのプログラムも一部異なるため、基本的には曜日を分けてご案内させて頂いております。

Q: いろんな加算があって分からない

A: 要介護の方:

加算によってはリハ職と一対一での訓練が行えたり、ご家族様も含めて定期的に目標の達成度や困りごとについて情報共有を行う会議を開く事も出来ます。

要支援の方:

基本的には個別での介入時間は設けておりませんが、加算によっては期間限定で個別介入を行う事が可能です。

※困りごとに応じて加算のご説明もさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

Q: 自立(律)支援とは？

お世話型のケアではなく、自助・互助を推奨しています。

そのためバイタル測定、個人シートの記入、荷物の管理、飲水なども含めてご自身やご利用者様同士での協力を支援しています。

自助: 自分の事は自分でする。健康状態を維持する。

互助: 利用者様同士、近隣住民同士の助け合い。

共助: 介護サービスや医療サービスなど。

公助: 自助・互助・共助では対応できない場合の行政支援。



利用の流れ (期間限定コース)

期間限定 目標達成コース

- 滞在4時間
- 食事あり、風呂は要相談
- 6か月以内に具体的目標を達成しコースからの卒業
- 移動・排泄自立レベルの方

<サービスご利用当日の流れ> ※時間は一例

1日の部

- 10:00 ご自宅へお迎え(センターの車でお迎えに伺います)
- 10:20～ センター到着、うがい・手洗い・健康チェック(血圧・体温等)
- 10:50～ **リハビリ①**:自身のプログラムシートに沿って、マシントレーニング、バイクマシン、自主トレーニング
- 11:30～ 発声体操
- 11:45～ 手洗い・食事準備
- 12:15～ 昼食、歯磨き、休憩
- 13:40～ ラジオ体操
- 13:50～ **リハビリ②**:自身のプログラムシートに沿って、マシントレーニング、バイクマシン、自主トレーニング
- 14:40～ 帰宅準備
- 14:50～ 送迎(センターの車でお送りします)

<入浴に関して>

短期集中加算を算定されており、ご自宅での入浴を目指して入浴訓練に取り組む方が対象
加算終了後ごには自宅での入浴やデイサービス等での入浴をご提案します

※加算の算定ができない方でも自宅の浴室環境についても必要な福祉用具や改修についてのご相談も可能

<よくあるQ&A>

Q:6か月間は必ず利用しないといけないのか

A:1か月や3か月などの短期間のご利用でも問題ありません
6か月後には本人様がよりステップアップできるようなサービスの提案を行います

Q:制限食への対応は可能か

A:様々な制限食や食形態(1口大、きざみ等)も対応可能です

Q:自宅で入浴したいが、自立しなかった場合はどうすればよいか

A:ご家族やヘルパーさん等に入浴方法の指導を行う事もできます
利用当初から家族やヘルパーとの入浴を目指して練習される方もいらっしゃいます

Q:休憩する事は可能か

A:お昼にはベッド等に横になって休憩する事も可能です
また必要に応じて活動の合間に椅子に座って休憩する事もベッドに横になって休憩する事も可能です

通所リハ 健康の家 料金表

令和4年10月現在

(1) 介護報酬利用分

※1) 福井市は地域区分が「7級地」であるため、下記表の単位数に10.17円を乗じた金額のうち、介護保険負担割合(1割～3割)にもとづいた額が自己負担となります。

※2) 1ヶ月の単位数の合計に地域区分単価を乗じて計算するため、サービス毎の自己負担額を合計した場合、小数点以下の端数処理の関係で請求書の金額とは差異が生じることがあります。

【通所リハビリテーション】

<基本サービス> 通常規模型リハビリテーション費(1回利用につき)

利用区分	介護度	単位数	利用料金	自己負担額		
				1割負担	2割負担	3割負担
2～3時間	要介護1	380 単位	3,864 円	387 円	773 円	1,160 円
	要介護2	436 単位	4,434 円	444 円	887 円	1,331 円
	要介護3	494 単位	5,023 円	503 円	1,005 円	1,507 円
	要介護4	551 単位	5,603 円	561 円	1,121 円	1,681 円
	要介護5	608 単位	6,183 円	619 円	1,237 円	1,855 円
3～4時間	要介護1	483 単位	4,912 円	492 円	983 円	1,474 円
	要介護2	561 単位	5,705 円	571 円	1,141 円	1,712 円
	要介護3	638 単位	6,488 円	649 円	1,298 円	1,947 円
	要介護4	738 単位	7,505 円	751 円	1,501 円	2,252 円
	要介護5	836 単位	8,502 円	851 円	1,701 円	2,551 円
	リハビリテーション提供体制加算1	12 単位	122 円	13 円	25 円	37 円
4～5時間	要介護1	549 単位	5,583 円	559 円	1,117 円	1,675 円
	要介護2	637 単位	6,478 円	648 円	1,296 円	1,944 円
	要介護3	725 単位	7,373 円	738 円	1,475 円	2,212 円
	要介護4	838 単位	8,522 円	853 円	1,705 円	2,557 円
	要介護5	950 単位	9,661 円	967 円	1,933 円	2,899 円
	リハビリテーション提供体制加算2	16 単位	162 円	17 円	33 円	49 円
5～6時間	要介護1	618 単位	6,285 円	629 円	1,257 円	1,886 円
	要介護2	733 単位	7,454 円	746 円	1,491 円	2,237 円
	要介護3	846 単位	8,603 円	861 円	1,721 円	2,581 円
	要介護4	980 単位	9,966 円	997 円	1,994 円	2,990 円
	要介護5	1,112 単位	11,309 円	1,131 円	2,262 円	3,393 円
	リハビリテーション提供体制加算3	20 単位	203 円	21 円	41 円	61 円
6～7時間	要介護1	710 単位	7,220 円	722 円	1,444 円	2,166 円
	要介護2	844 単位	8,583 円	859 円	1,717 円	2,575 円
	要介護3	974 単位	9,905 円	991 円	1,981 円	2,972 円
	要介護4	1,129 単位	11,481 円	1,149 円	2,297 円	3,445 円
	要介護5	1,281 単位	13,027 円	1,303 円	2,606 円	3,909 円
	リハビリテーション提供体制加算4	24 単位	244 円	25 円	49 円	74 円

<加算・減算サービス>

下記加算・減算については、各条件を満たす場合に算定します。

※ ○ 区分支給限度基準額の算定対象、● 区分支給基準限度額の算定対象外

加算名	単位数	利用料金	自己負担額		
			1割負担	2割負担	3割負担
● 中山間地域等提供加算	基本サービス費とリハビリテーション提供体制加算の5%に相当する単位数(1日につき)				
● 送迎減算(片道につき)	▲47 単位	▲477 円	▲48 円	▲96 円	▲144 円
○ 入浴介助加算(Ⅰ)/日	40 単位	406 円	41 円	82 円	122 円
(Ⅱ)/日	60 単位	610 円	61 円	122 円	183 円
○ リハビリテーション (A)イ/月(6月以内)	560 単位	5,695 円	570 円	1,139 円	1,709 円
マネジメント加算 (A)イ/月(6月超過)	240 単位	2,440 円	244 円	488 円	732 円
(A)ロ/月(6月以内)	593 単位	6,030 円	603 円	1,206 円	1,809 円
(A)ロ/月(6月超過)	273 単位	2,776 円	278 円	556 円	833 円
(B)イ/月(6月以内)	830 単位	8,441 円	845 円	1,689 円	2,533 円
(B)イ/月(6月超過)	510 単位	5,186 円	519 円	1,038 円	1,556 円
(B)ロ/月(6月以内)	863 単位	8,776 円	878 円	1,756 円	2,633 円
(B)ロ/月(6月超過)	543 単位	5,522 円	553 円	1,105 円	1,657 円
○ 短期集中個別リハビリテーション実施加算/日	110 単位	1,118 円	112 円	224 円	336 円
○ 認知症短期集中リハビリテーション実施加算 イ/日	240 単位	2,440 円	244 円	488 円	732 円
ロ/月	1,920 単位	19,526 円	1953 円	3,906 円	5,858 円
○ 生活行為向上リハビリテーション実施加算/月	1,250 単位	12,712 円	1272 円	2,543 円	3,814 円
○ 重度療養管理加算/日	100 単位	1,017 円	102 円	204 円	306 円
○ 中重度ケア体制加算/日	20 単位	203 円	21 円	41 円	61 円
○ 移行支援加算/日	12 単位	122 円	13 円	25 円	37 円
○ 理学療法士等体制強化加算/日	30 単位	305 円	31 円	61 円	92 円
○ 栄養アセスメント加算/月	50 単位	508 円	51 円	102 円	153 円
○ 栄養改善加算/回(月2回まで)	200 単位	2,034 円	204 円	407 円	611 円
○ 口腔・栄養スクリーニング加算(Ⅰ)/回(6月に1回まで)	20 単位	203 円	21 円	41 円	61 円
(Ⅱ)/回(")	5 単位	50 円	5 円	10 円	15 円
○ 口腔機能向上加算(Ⅰ)/回(月2回まで)	150 単位	1,525 円	153 円	305 円	458 円
(Ⅱ)/回(")	160 単位	1,627 円	163 円	326 円	489 円
○ 科学的介護推進体制加算/月	40 単位	406 円	41 円	82 円	122 円
● サービス提供体制強化加算Ⅱ/日	18 単位	183 円	19 円	37 円	55 円
● 介護職員処遇改善加算Ⅰア/月	所定単位数に4.7%を乗じた単位数				
● 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ/月	所定単位数に2.0%を乗じた単位数				
● 介護職員等ベースアップ等支援加算/月	所定単位数に1.0%を乗じた単位数				

※所定単位数:1ヶ月に利用した基本サービスと加算サービスの単位数の合計

【介護予防通所リハビリテーション】

＜基本サービス＞

介護予防通所リハビリテーション費(1回利用につき)

介護度	単位数	利用料金	自己負担額		
			1割負担	2割負担	3割負担
要支援1	2,053 単位	20,879 円	2,088 円	4,176 円	6,264 円
要支援2	3,999 単位	40,669 円	4,067 円	8,134 円	12,201 円
※利用月から12月超過の場合減算 要支援1	▲20 単位	▲203 円	▲24 円	▲41 円	▲61 円
要支援2	▲40 単位	▲406 円	▲41 円	▲82 円	▲122 円

※令和3年4月以前よりご利用頂いている場合は、令和3年4月を起算とします。

＜加算・減算サービス＞

下記加算・減算については、各条件を満たす場合に算定します。

※ ○ 区分支給限度基準額の算定対象、● 区分支給基準限度額の算定対象外

加算名	単位数	利用料金	自己負担額		
			1割負担	2割負担	3割負担
● 中山間地域等提供加算	基本サービス費の5%に相当する単位数(1日につき)				
● 送迎減算(片道につき)	▲47 単位	▲477 円	▲48 円	▲96 円	▲144 円
○ 運動器機能向上加算/月(選択的サービス)	225 単位	2,288 円	229 円	458 円	687 円
○ 生活行為向上リハビリテーション実施加算/月	562 単位	5,715 円	572 円	1,143 円	1,715 円
○ 栄養アセスメント加算/月	50 単位	508 円	51 円	102 円	153 円
○ 栄養改善加算/月(選択的サービス)	200 単位	2,034 円	204 円	407 円	611 円
○ 口腔・栄養スクリーニング加算(Ⅰ)/回(6月に1回まで)	20 単位	203 円	21 円	41 円	61 円
(Ⅱ)/回(")	5 単位	50 円	5 円	10 円	15 円
○ 口腔機能向上加算(選択的サービス)(Ⅰ)/月	150 単位	1,525 円	153 円	305 円	458 円
(Ⅱ)/月	160 単位	1,627 円	163 円	326 円	489 円
○ 事業所評価加算/月	120 単位	1,220 円	122 円	244 円	366 円
○ 科学的介護推進体制加算/月	40 単位	406 円	41 円	82 円	122 円
○ 選択的サービス複数実施加算 (Ⅰ)/月	480 単位	4,881 円	489 円	977 円	1,465 円
(Ⅱ)/月	700 単位	7,119 円	712 円	1,424 円	2,136 円
● サービス提供体制強化加算Ⅱ/月 要支援1	72 単位	732 円	74 円	147 円	220 円
要支援2	144 単位	1,464 円	147 円	293 円	440 円
● 介護職員処遇改善加算Ⅰア/月	所定単位数に4.7%を乗じた単位数				
● 介護職員等特定処遇改善加算Ⅰ/月	所定単位数に2.0%を乗じた単位数				
● 介護職員等ベースアップ等支援加算/月	所定単位数に1.0%を乗じた単位数				

※所定単位数:1ヶ月に利用した基本サービスと加算サービスの単位数の合計

(2)その他の費用

○ 食費	700円(1日あたり、午前から利用・希望された方のみ)
○ おやつ代	50円(昼食なしでおやつのみ希望された方のみ)
○ 延長サービスにかかる利用料	1時間につき500円 利用者の選定によりサービス提供時間(介護報酬対象)を超えて提供した場合にいただきます。
○ 日常生活費・レクリエーションにかかる費用等	実費負担となります。